

大事なお知らせ

当協会は6月6日、有限責任中間法人の法人格を取得しました。〈正式名称〉有限責任中間法人 山形県建築協会

【有限責任中間法人とは】中間法人とは、中間法人法第二条第一節において『社員（会員）に共通する利益を図ることを目的とし、かつ、剰余金を社員に分配することを目的としない社団であって、この法律により設立されたものをいう』と定義されています。つまり、公益も営利も目的としない団体（中間的団体）をいいます。この法人格を取得することにより、団体の信用もまし、活動がしやすくなります。有限責任中間法人は、社員が法人債権者に対し責任を負うことのない中間法人です。



今号は 協会の充実のため会員拡充にがんばっている 総務委員会会員拡大部分会をご紹介します。



総務委員会会員拡大部分会
木村 育雄
[株式会社菊池技建]

私は住宅の営業を担当しています。毎日従来のお客様と新規のお客様を訪問しています。お客様のほとんどが紹介頂いた方々です。私はこの道38年、今までの経験を生かし、お客様満足度120%を目指して感動を与えられる仕事をしていきたいと常に考え行動しています。



総務委員会会員拡大部分会
阿部 正典
[株式会社阿部工務店]

「住み良い 住まい造り」私は、お客様一人一人に、本当に満足して頂けるよう、見た目も使いやすさも住みごこちも一番の住まい造りを目指しております。また、この協会に入会した事で、いろいろな方々との意見交換ができ、とても勉強になっております。今後共、よろしくお願ひいたします。



総務委員会会員拡大部分会
斎藤 和明
[株式会社斎藤工務店]

技術で拓く豊かな住まいづくり 住まいとは家族全員の憩いの場であり、身体の疲れ、精神的な疲れを癒し、暖かい家族寄り合いの場所である。住まいに対して住む人の不平不満があってはならない。こんな思いで家づくりに頑張っております。宜しくお願い致します。



総務委員会会員拡大部分会
清野 豊春
[株式会社清野建設]

山形県建築協会設立にあたり多くの方々のご苦勞に心から感謝申し上げます。何か、今までの団体・組織と違った“さわやかな協会”そんな思いがします。この素晴らしい協会の一員である事に喜びを感じ頑張っていきたいと思ひます。今後供よろしくお願ひ致します。



総務委員会会員拡大部分会
増子 吉友
[有限会社丸弥増子建設]

「魅力ある人」・「魅力ある建築」に成るよう多くの方々と交流し意見を聞きながら努力していきたいと思ひます。また、山形県建築協会の発展の為、1社・1人でも多くの参加をお願ひいたします。

山形県建築協会

(社)全国中小建設業協会 加盟 会員募集

常時会員を募集していますので、ご入会ご希望社は事務局までご連絡下さい。

山形県建築協会事務局
山形市城北町一丁目12番26号(山形建築会館内)
TEL023-647-6131 FAX023-645-0855

編集後記




みんなで育てよう!

山形県建築協会が設立してからやっと半年が過ぎました。今回が第2号、生れたばかりのATOMです。ATOMの誕生年にちなんで命名されたものですが、鉄腕でもないし、10万馬力もありません。本当によちよち歩きの何の経験もない赤ちゃんです。皆さんの力をお借りしながら、少しづつ真つすくにして大きく育てて頂きたいと思ひます。広報誌ATOMが会員の皆さんの今後の活動に少しでも参考になれば幸いです。

総務委員長 市村 清勝



2003.9.秋
vol.2



【Atom】(あとむ)
『Atom』は「architecture=建築」と「tomorrow=明日・未来」を組み合わせた造語です。折しも2003年は、あのATOM誕生年。本誌も、ATOMにあやかり時代を超えて愛され、活用される広報誌であり続けたいとの願ひをこめて、このネーミングといたしました。

第1回建設業界懇談会

大いに語ろう!

ダンピングや談合問題
本音で討論!

当協会の呼びかけで、去る6月26日午前10時より、山形グランドホテルにおいて「第一回建設業界懇談会『大いに語ろう!』」が開催されました。

懇談会には山形県建築士協会、山形県建築士事務所協会、山形県電業協会、山形県電気工事工業組合、山形県管工事業協同組合、山形県空調衛生工事業協会、そして山形県建築協会の7団体が参加。

山形県建築士会の平吹会長が座長を務め、「お互いの立場を理解し合い、マイナス思考にならずにプラス思考で、少しずつでも問題を解決したい。忌憚のないご意見を出してほしい」と会はスタート。ダンピング問題や談合問題による業界のイメージダウンなどについて、活発な議論が展開されました。今後はテーマごとに懇談会を開き、具体的な解決策などをとりまとめていく方針です。今年度、第3回目の開催を予定しています。



熱い討論が繰り広げられた懇談会

活発なご意見のほんの一部です

平吹会長[座長](社団法人山形県建築士会・会長)
お互いの立場を理解し合い、マイナス思考にならずにプラス思考で、少しずつでも問題を解決できれば山形県の試み(取組)が東北へ、更に全国へと波及していく。

市村会長(有限責任中間法人山形県建築協会・会長)
現在抱えている問題は一朝一夕に結論が出るものではないが、今日の意見を参考に専門工事業者の団体との懇談、県や市との意見交換をしたい。

安孫子顧問(社団法人山形県建築士事務所協会・顧問)
業界の今の話題はダンピングと談合問題。求められているのは適正受注。

高橋理事長(山形県電業工事工業組合・理事長)
現在の市場価格は決して適正価格ではない。形式的な取り組みだけでは解決しない。また、県では公営住宅をPFIで実施する方針だが、今回のメンバーが中心となって受け皿づくりを考えてはどうか?

佐藤副会長(有限責任中間法人山形県建築協会・副会長)
ダンピングの抑止力を働かせるためにも、専門業者との懇談の場をつくり、団結を促し、ダンピング受注の自粛意識を高めることが喫緊の課題。

会津理事(山形県電業協会・理事)
顧客に満足していただける施工のためにも、適正価格による良識ある受発注を望む。

船橋会長(山形県管工事業協同組合連合会・会長)
業界は適正価格を必要としている。最低制限価格の導入などは有効な手段。

黒沢会長(山形県空調衛生工事業協会・会長)
業界は談合問題などでイメージが悪く、閉塞感もある。今こそ業界一丸となって、本音を本気で話し合う時。

大村支部長(山形県空調衛生工事業協会・山形支部長)
建築協会さんとも現場共益費について取り決めをしたい。

菅原副会長(社団法人山形県建築士会・副会長)
公共事業の受注において、単価、数量が適正なのか重要。数量のチェックができる代行機関を設けて経費の無駄を省き、適正な入札での受注が望ましい。

伊藤会長(社団法人山形県建築士事務所協会・会長)
今後一番大切なのは高い技術を維持すること。ダンピングが技術開発の妨げになってはいけない。建築の仕事では、数量や単価の他に施工の難度も考慮する必要がある。

武田支部長(社団法人山形県建築士会・常務理事・山形支部長)
一括発注と分離発注で価格に違いが出るというのはおかし。

8.29 建築専門業者団体懇談会

ダンピング防止と技術者育成が急務



8月29日(金)山形テルサにおいて、専門業者15団体の参加のもと、『建築専門業者団体懇談会』が開催されました。相田見輔・副会長の趣旨説明の後、それぞれが抱える問題について忌憚のない意見が交換されました。各団体とも共通した問題として

1. 仕事量の減少
2. ダンピングによる利益率の低下
3. 後継者および高齢化の問題と技術者の育成
4. 地元企業の保護・育成

に関して意見が出され、「今後の情報交換・研修の場として、このような建築専門工事業の団体協議会を定期的に行ってほしい」という意見も多く聞かれました。

各専門業者団体の抱える問題点

- ◆山形県タイル・煉瓦工業組合連合会
新たに左官・タイル工になる人が減っている。／ダンピングの影響もあり手間も払えないという状況。
- ◆防水工事業組合
天候は工期に影響を及ぼす問題。発注時期の配慮があればもっと良い仕事ができる。／従業員の高齢化＝手間賃が安く若い人が育たない。／一級技能士の常駐制度を広く活用できる仕組みを早く実現させたい。／材料は環境問題とリンクしている。正しい認識のもと対策を講じていかなければいけない。
- ◆山形県サッシ・ガラス協同組合
仕事量に加え価格の下落も深刻な問題。／資格を重視し過ぎるあまり技術の訓練が疎かになっている。
- ◆山形県生コンクリート工業組合
耐久性能の観点から品質管理に対する要求が高まり、コスト削減のネックになっている。
- ◆山形中央建具協同組合
技能士間の賃金格差。労務費のばらつき。
- ◆山形県塗装工業組合
次代を担う若者が減少。景気低迷により企業の協力が得られにくい。シックハウス・環境問題に適合する塗料の原価が高価。
- ◆山形県鉄筋工事業組合
一級技能士の常駐、各企業の社会保障の完備等を含めた適正価格の再検討が必要ではないか。

●8月29日 建築業専門社団体との懇談会出席者一覧

団体名	氏名	団体における役職名	所属会社名
山形県空調衛生工事業協会	黒澤 洋	会長	黒澤建設工業(株)
山形県管工事業協同組合連合会	大村 喜一郎	副会長	(株)大村工機所
	増村 力	副会長	東亜熱研工業(株)
	近藤 峰雄	専務理事	近藤工業(株)
山形県電気工事工業組合	高橋 文夫	代表理事	東北電化工業(株)
	佐藤 正典	専務理事	(株)アスネット電気工業
山形県電業協会	高橋 勝治	理事・政策技術委員長	(株)タカハシ電工
	鈴木 舜太郎	理事・山形支部長	(株)東北電業社
山形県鉄構工業組合	村山 功	理事長	(株)ムラヤマ
	佐藤 洋一	副理事長	(株)佐長鉄工
山形県左官工業組合	天野 祐二	理事長	(株)天野左官
	鈴木 哲雄	事務局長	
山形県板金工業組合	影澤 照也	副理事長・事業委員長	(株)カゲサワ
山形県鉄筋工事業組合	有川 信博	理事長	(有)北部
	江目 健一	理事	(有)江目鉄筋工業所
	佐藤 武	諮問委員会委員長	(有)佐藤鉄筋工業所
山形県塗装工業組合	田中 義夫	副理事長	田中塗装工業(株)
山形県中央建具協同組合	浦口 捷夫	専務理事	
	伊藤 昇	理事	
山形県生コンクリート工業組合	佐藤 三郎	理事長	
	加藤 忠二	専務理事	
	武田 忠明	理事	
山形県サッシ・ガラス協同組合	阿部 栄司	理事長	(株)アベ硝建
	奥山 忠道	副理事長	(株)北日本ハウジング
	結城 典興	専務理事	(株)結城ガラス店
山形建築組合	長谷川 邦夫	会長	(有)長谷川建築
山形県防水工事業協同組合	奥山 真一	事務局長	山建工業(株)
山形県タイル・煉瓦工業組合連合会	阿部 啓治	副会長	カネケイ工業(株)
	伊藤 松雄	事務局長	(株)ヤマケン
建設企業新聞社	江口 重美	代表取締役社長	
建設新報社	名取 克也	常務取締役	
東北建設工業新聞社	児塚 寛	部長	
建設新聞社	高木 勲	支局長	
有限責任中間法人 山形県建築協会	市村 健一	会長	(株)市村工務店
〃	相田 晃輔	副会長	相田建設(株)
〃	佐藤 潤	副会長	小野建設(株)
〃	市村 清勝	総務委員会委員長	(株)市村工務店
〃	鎌田 重夫	施工委員会委員長	愛和建設(株)
〃	谷口 義洋	企画情報委員会委員長	(株)千歳建設
〃	高橋 武彦	調査研究委員会委員長	(株)高松木材

- ◆山形県板金工業組合
県内および全国で以下のような事業を展開している
●10年間責任施工保証制度
●独自受注の可能なリフォーム事業への参入
●カラー鉄板からファインスチールと呼称を変更し20年間メンテナンスフリーの屋根材の普及
●太陽光発電への参入
●事業所へのインターネットHPの立ち上げ強化
- ◆山形県左官工業組合
技能検定の受検者が増加しているのは明るい話題だ。／シックハウスが社会問題。木で建て、壁を塗り、畳を敷き、障子をはる住宅を勧めるべき。／ステッカーを車などに貼り、非組合員を差別化することを計画。
- ◆山形県鉄構工事業組合
材料費が高騰し、加工賃を圧迫している。／元請が商社化傾向にあり、物を造るための人材の確保に問題がある。その結果、施工図のチェックや図面承認をしない元請が出てきている。／施工方針など説明し細かく打ち合わせをする事前検討会＝キックオフ・ミーティングをやっているところがあり、これは非常に有意義。
- ◆山形県電業協会
ダンピングによる価格の下落で人材養成が出来ず将来不安。
- ◆山形県電気工事工業組合
建設業界は談合等の悪いレッテルを貼られている。／地方の仕事は地方の業者が受注。雇用の創出をも考えるべき。
- ◆山形県管工事業協同組合連合会
豊かな地方をつくるために地域企業に発注をしてほしい。
- ◆山形県空調衛生工事業協会
団体として力をつけ、定期的な発言をしていかなければならない。

企画情報委員会

- ### ■委員会内容
1. 公共工事予算の拡大と県内業者への発注基準の拡大
 2. 施工の平準化と適正価格による受注
 3. 電子入札に対する対応推進
 4. 入札制度に関する陳情
 5. ダンピング受注の自粛と適正な最低制限価格の採用推進

- ### ■企画情報委員会
- (株)千歳建設／谷口 義洋
丸七建設(株)／東海林松男
相田建設(株)／我妻 一也
伊藤建設(株)／川越 四郎
(株)井上工務店／井上 孝一
(株)大場組／田中 進
小野建設(株)／小野 和行
河西建設(株)／齋藤 孝
(株)黒田建設／正野 信義
(株)深瀬組／深瀬 義寛
丸ト建設(株)／村上 栄一
緑増子建設(株)／後藤 茂
和興建設(株)／石川 浩朗



▲全委員会の協力の下、開催された専門業者懇談会

- ### 委員会活動
- 8月29日 専門業者団体懇談会開催
<予定>
◆各官庁に対する要望申し入れ
(入札、発注、労務、賃金、雇用、等)

調査研究委員会

- ### ■委員会内容
1. 設計関係団体、専門業社団体との情報交換会の開催
 2. PFIの事例研究
 3. 新規事業に関する調査研究

- ### ■調査研究委員会
- (株)高松木材／高橋 武彦
荻野建設(株)／荻野 武好
大友建設(株)／佐藤 暁
荻野建設(株)／押野 耕一
(株)金山工務店／富樫 滋
(株)高松木材／日下部 繁
東海林建設(株)／東海林清彦
富塚建設(株)／富塚 正輝
(株)沼澤工務店／吉川 吉次
(有)長谷川建築／長谷川邦夫
(株)富士工務店／小林 貞雄
丸嘉建設工業(株)／深瀬 国雄
三浦建設工業(株)／桑原 勝彦
山新建装(株)／武田 典雄



▲調査研究委員会を中心となって開催した「大いに語ろう」

- ### 委員会活動
- 6月26日 第1回建設業界懇談会「大いに語ろう」開催
 - 8月29日 専門業者団体懇談会開催
<予定>
◆官庁関係(県)との懇談会

よりよい暮らしと地域づくりに貢献します！

一般建築・土木・住宅・建築リフォーム・宅地分譲・賃貸マンション・分譲マンション・萬世鹿角霊芝

吉相田建設株式会社

本社 / 〒992-0017 山形県米沢市桜木町2番48号 TEL.(0238)23-6510(代) FAX.(0238)23-6538

ホームページを見ないと損かも!? <http://www2.jan.ne.jp/~aiken/>



本間建設株式会社

代表取締役 本間春蔵

〒999-4224 山形県尾花沢市新町4丁目4番6号
TEL.0237-22-1527 FAX.0237-22-1524
E-mail honma446@soleil.ocn.ne.jp

本社



第1回 研修会開催

進化する住宅と暮らし



講師

株式会社山形県建築サポートセンター
 所長 **横山 實氏**

7月28日(月)、第1回研修会が山形国際交流プラザにおいて開催されました。この研修会は施工委員会が中心となって開催され72名が参加。講師の山形県建築サポートセンター所長・横山實氏が「進化する住宅と暮らし」をテーマに約2時間講演。水・空気・土に関する話から建築全般、そして建て主とのコミュニケーション等、きわめて広範なアイデアに富んだお話をいただきました。今後も定期的にこのような研修会を開催していく予定です。是非皆さんも参加してください。

講演内容

情報について

- 建築行政と住宅相談所
行政は情報の宝庫。積極的に活用すべき。
- 人間の造れない物・異業種参入
人間が造れない物質は水・空気・土。この分野での新しい商品として土の事業展開(腐葉土)を考えてはどうか?
- 質問型人間
これからは質問型人間への転換が必要。情報が多くなり、営業力が増し、想像力が豊かになる。
- 富士山型の技術者
その道のエキスパートになるためには、裾野の広い富士山型の知識が必要。建築以外の知識も積極的に吸収して欲しい。

住宅について

- 高気密高断熱
北海道の住宅を全国に持ってきたもので、「暖まりやすく、冷めにくい」住宅。24時間換気の出現によって今後の推移に注目。
- 基礎パッキン・棟換気
山形の風土に合わないと思ったら止めることも必要。
- 筋違いのバランス
最初に全体のバランスを考えて配置する。入れ方も圧縮力に効く方向を考慮していただきたい。
- 外壁通気工法
外側から太陽や気温を遮断するのが一番良い方法。通気口の大きさなどにも配慮が必要。
- スノーSTOPパー
山形市に圧倒的に多い、素晴らしい発明品。もっと雪の多い地方には有効なのか知りたい。

- 基礎コンクリートの養生
コンクリートにクラックが生じるのは宿命だが、建て主によく説明できる知識を持って欲しい。養生は、冬期間は良く注意しているが、春の乾燥や真夏の養生もおそろかになってはいけない。
- 階段手摺りの考え方
端部が壁に90度曲がるようになっており、高さは750~850、降りる方向の利き手側が良いとされている。
- 流し台の選定
最近、特に種類が多くなった。設計する段階で奥様方に使い勝手を説明し、決定して欲しい(組板)。
- 健康住宅の欠点
長所もたくさんあるが、ここでは欠点を。材料が木材や左官材が多くなるので、埃がたまりやすい欠点がある。埃を外に出す配慮が必要。
- 吹抜天井の空気バランス
扇風機の活用や、サーキュレーターを利用して空気の循環を画る等様々なアイデアがある。
- 浄化槽の検査
検査は型式を見るので、どこにラベルが貼っているのかわかって欲しい。
- 遮音の在り方
県内で開発された遮音の製品。酒田市に「サリホン遮音システム」がある。
- 検査と色具合等
完了検査における検査は総合的判断。
- 火気使用室の給気口ガラー
図面には給気口ガラーを記入。
- 手摺り高の1,100mmとは
法律では階段上部の手摺りやベランダ、バルコニーの手摺りの高さについて、住宅で2階建ての場合は1,100の制限はない。

- 雑草対策
アパート専門のメーカーなどの雑草対策も参考にしたい。
- 地球温暖化現象
建築産業においても温暖化に影響を与えている。

暮らしについて

- 温度計・湿度計の利用
部屋の温湿度の管理が重要になってきた。温湿度計を施工者から引き渡し時にプレゼントしてはどうか。
- カタカナ食品をひらがな食品へ
建築技術者も暮らしの中の食品を知識として知って欲しい。生活習慣病の予防にもなる。
- 床下換気口の閉閉
開閉式の通気口は引き渡し時に説明が必要。
- 押入の床は杉板に
見た目も立派でゴミも掃き出しやすい山形県産材を使って欲しい。
- 交通量を考えた内覧会
道路事情も考慮に入れた内覧会が効果的。
- 趣味を利用
趣味の話が建て主との円滑なコミュニケーションの一助になる。お礼するなら趣味の本や道具を。
- 平面図は額入りで
設計者の印を押し、建て主にプレゼントすると大変喜ばれる。
- 男性ばかりの家庭に
母子家庭や高齢者家庭のみならず、これからは男だけの家庭や父子家庭にも目を向けるべき。
- 若者に対する情報を
これからは若者に対する勉強も必要。



(社)全国中小建設業協会建築委員会

活動報告

6月5日~9月9日まで

平成 15年6月 5日	全国中小建設業協会 平成15年度通常総会	*市村会長、佐藤副会長	●名古屋にて
平成 15年6月 6日			
平成 15年6月 19日	第3回理事会		●建築会館にて
平成 15年6月 25日	全国中小建設業協会理事会	*市村会長	●東京にて
平成 15年6月 26日	座談会「大いに語ろう」	*調査研究委員会	●グランドホテルにて
平成 15年7月 25日	山形市役所管理課「入札制度改正について」の説明		
平成 15年7月 28日	第1回研究会「進化する住宅と暮らし」講師：横山 実氏		●国際交流プラザにて
平成 15年8月 7日	山形県土木部建築住宅課(中間法人取得表敬訪問)	*市村会長、佐藤副会長	
平成 15年8月 22日	有料老人ホーム涼風苑 視察 [福島県建設業協会]		
平成 15年8月 27日	第4回理事会		●建築会館にて
平成 15年8月 29日	建築専門業社団体懇談会	*総務委員会	●山形テルサにて
平成 15年9月 2日	全国中小建設業協会建築委員会	*佐藤副会長	●東京朝日東海ビルにて
平成 15年9月 3日	全国中小建設業協会理事会	*市村会長	〃
平成 15年9月 9日	山形県21世紀すまいづくり研究協議会	*佐藤副会長	●あこや会館にて

11月
開催

活動
予定

会 員 懇 親 会

山 形 県 と の 懇 談 会

●詳細は決定次第お知らせ致します。



荻野建設株式会社

本 社 / 〒990-0025 山形市あこや町三丁目15-28
 TEL.023-641-1181(代) FAX.023-641-1183

営業部 / 〒994-0047 天童市駅西二丁目10-28
 TEL.023-653-1897 FAX.023-653-1880
 “スペース遊”ハウジング事業部 TEL.023-653-1181

人、街、未来。



<http://www.ono-const.co.jp/>

小野建設株式会社

本 社 / 山形市籠田一丁目6番7号
 TEL.(023)645-1818(代) FAX.(023)643-5889

朝日町支店 / 西村山郡朝日町大字大谷1348番地
 TEL.(0237)68-2453

総務委員会

■委員会内容

1. 会報の発行
2. 会員拡大
3. 若年建築従事者の確保のためのイメージアップPR
4. 表彰に関する業務
5. 全中建との連携、情報交換
6. 中間法人設立に関する事務手続き(設立完了)

■総務委員会

- (株)市村工務店/市村 清勝
 本間建設(株)/本間 伸一
 (株)阿部工務店/阿部 正典
 (株)市村工務店/門間 紀雄
 狩野工務店/狩野 一康
 (株)菊池技建/木村 育雄
 (株)齋藤工務店/齋藤 和明
 (有)笹原建業/笹原 一浩
 (株)清野建設/清野 豊春
 (株)千歳工務店/菊池 康倫
 (有)フィールド/水吉 栄二
 (有)丸弥増子建設/増子 吉友
 (有)丸与建設/堀 健一



▲総務委員会会員拡大大会

委員会活動

- 6月6日 有限責任中間法人設立
 - 6月20日 会報「Atom」創刊号発行
 - 8月29日 専門業者団体懇談会開催
 - 10月20日 会報「Atom」第2号発行
- <予定>
 ◆会員増強(目標80社)

施工委員会

■委員会内容

1. 施工技術研修会の開催
2. 施工物件の視察
3. 公共工事の経費率の改善促進
4. 安全教室と安全パトロールの推進

■施工委員会

- 愛和建设(株)/鎌田 重夫
 (株)たくみ/佐藤 靖之
 (有)新工房/佐藤 竜太
 (株)荒正/守谷 浩
 (株)大泉建設/大泉清二郎
 佐藤工務店/佐藤 一人
 (有)高橋工務店/高橋隆二郎
 廣谷建設(株)/廣谷 善郎
 (株)藤建設/後藤 晃一
 布施建設(株)/保科 清一
 (株)山形一進社/深瀬 博
 (株)丸健/市村健三



▲施工委員会が中心となって開催した第1回研修会

委員会活動

- 7月28日 第1回研修会
「進化する住宅とくらし」開催
 - 8月29日 専門業者団体懇談会開催
- <予定>
 ◆安全研修等の開催



福島県建設業協会 視察研修会レポート

有料老人ホーム「涼風苑 飯坂」 熱い想いと実行力!、今後の展開に期待!

中間法人山形県建築協会 副会長 相田晃輔

▲社団法人福島県建設業協会佐藤会長の説明を聞く



山形県建築協会設立後、初めての視察研修が、市村会長の段取りにより行われました。

以前から、全国的にも注目を集める、積極的な活動を展開している福島県建設業協会様関係の視察と、佐藤(株)福島県建設業協会会長のお話も聞けるということでしたので、興味津々で行って参りました。

視察の内容としては、①福島県建設業協会佐藤会長の講話約40分、②福島県建設業協会の活動がきっかけとなってオープンした有料老人ホーム「涼風苑飯坂」という住宅型有料老人ホームの視察、という2本立てでありました。

超多忙なか時間を割いていただいた佐藤会長の話から、建設業に対する熱い想いがガンガンに伝わってきました。佐藤会長のお話を聞いていて感じたことは、様々なアイデアを出していることもさることながら、そのアイデアを協会が中心となって積極的に実行に移して点に大変感銘を受けました。すごいリーダーシップです。また、建設業というのはすそ野の広い業界だし、地域経済の根幹を為す業界でもある点をふまえ、建設業界が今後更に厳しくなっていく環境下で、いかにして生き残っていくかを考え、そして実行し、「建設業協会が地域経済を維持していくのだ」とい

う強い意気込みを感じました。

そんな取り組みから生まれた一つの事例として「涼風苑飯坂」の施設を見せていただきましたが、その時はまだ入居者は1名のみという状況で、「正直なところ厳しいなあ」と思いましたが、佐藤会長のことですから今後の展開も計算されていることと思います。

私の素朴な感想として、建設業から異業種に進出するという事は、「このように強力なリーダーシップを持ってしても難しいことなのだ」ということを感じた次第です。

全国的にも先進的な活動を展開している福島県建設業協会ですが、背景が異なる部分もあるようですので一概に山形県と比較できないまでも、「自分たちで何とかしなければならぬ」という姿勢を強く感じた点を再度付け加えさせていただきます。

内容にあまり触れない単なる感想文となってしまいましたが、先方様より佐藤会長のお話の内容に触れている資料もいただけてきました。事務局で保管しておりますので是非ご覧になってください。

以上、最後まで乱筆乱文をお読み下さったことに感謝いたします。謝謝(合掌)

信頼と技術の



総合建設業株式会社 高松木材

代表取締役社長 高橋武彦

本社/寒河江市大字島宇島東87番地 TEL.(0237)86-2165(代)

最高のものをつくらう

株式会社 市村工務店

代表取締役会長 市村 健一
 代表取締役社長 市村 清勝

本社 〒990-2482 山形県山形市久保田三丁目11番12号
 TEL.(023)644-6878 FAX.(023)643-8813